

令和元年度 自己点検・自己評価

なでしこ保育園・第二なでしこ保育園・第三なでしこ保育園・なでしこ家庭保育室わらべ

A:よくできている B:できている C:一部改善が必要 D:改善を要する

※CまたはDと記入した場合は「意見・改善策」を記入 令和2年4月

項目	内容	評価	改善策	
保育 ついで 目標に	1. 保育士一人一人が保育園の保育理念、保育目標を理解している。	B		
	2. 子ども一人一人の主体性を大切にした保育をしている。	A		
	3. 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	A		
保育 について	1. 保育計画に基づき、子ども一人一人の発達の姿や興味を把握して、年間計画や月間指導計画、週案を立てている。	B	環境構成を 学び合い、 保育内容の 工夫に努める ようにした	
	2. 一人一人の成長発達を理解し、0～2歳児はかわいがり保育、3～6歳児はよりそい保育を実践している。	B		
	3. 職員間で子どもへの理解を深め、お互いの考えを十分に理解したうえで、保育を行なっている。	A		
	4. 素材・用具を適切に活用している。	B		
	5. 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫している。	C		
	6. 評価結果を基に、保育の改善に努めている。	B		
日 時 程	1. 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよい。	A		
行事 について	1. 行事の種類や実施回数を適切に行なっている。	A		
	2. 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている。	A		
	3. 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしている。	B		
	4. 計画・実施・評価・改善の体制をとっている。	A		
経営・ 組織	分掌・ 体制	1. 職員の仕事や役割が明確であり、それぞれの仕事を責任を持って行なっている。	B	
		2. 職員の配置は適材・適所になっている。	B	
		3. 係や仕事の分担・割り当ては適切にされている。	B	
	運 営	1. 各種会議を適切かつ効率的に進めている。	B	
		2. 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっている。	B	
		3. 打ち合わせ回数・時間・内容は適切に行なわれている。	A	

項目		内容	評価	改善策
経営・組織	クラス年齢別営	1. 同年齢および異年齢児間の効果的な活動の充実を図っている。	C	異年齢間の交流を意識してその機会を設けた
		2. 意義や趣旨を理解した上で複数担任が保育を行なっている。	B	
		3. 評価・資料(諸記録)を集積している。	B	
	保健・安全指導	1. 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じている。	B	
		2. 避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施している。	B	
		3. 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行なっている。	A	
		4. 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関と連携を図っている。	A	
	研修	園内・外研修	1. 研修内容は、保育目標の現実化に繋がるものになっている。	B
2. 園内研修の計画・運営は適切に行なわれている。			A	
3. 研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させている。			B	
4. 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っている。			A	
5. 各種研修会、講習会での内容を園内に還元している。			B	
情報・保護者支援		1. 乳幼児や保護者に関する個人情報을適正に取り扱っている。	A	
		2. 公文章收受 発送 処理を適切に行なっている。	A	
		3. 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している。	B	
		5. 保護者に寄り添い丁寧な言葉遣いや気持ちの良い対応を心掛けている。	A	
		6. 保護者に子どもの伸びているところや課題を伝え連携をとっている。	A	
		7. 様々な園行事を通して保護者との良好な関係を築こうとしている。	A	
		施設設備		
2. 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管している。	A			
3. 不審者に対応する周到な配慮を行なっている。	B			
4. 掲示板・掲示場所等を適切かつ効果的に活用している。	B			

項目	内容	評価	改善策	
出納・経理	1. 各種会計を適正かつ適切に処理している。	A		
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	1. 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっている。	A	
		2. 他施設等の児童生徒と触れ合う中で、乳幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助、支援を行なっている。	A	
		3. 指導者同士が、打ち合わせや事前研修・合同研修を行い互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っている。	B	
		4. 小学校の授業等を参観するなどして、小学校の教育を理解している。	A	
		5. 情報を交換し、それを交流活動に生かしている。	A	
	地域社会との連携	1. 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切に行なわれている。	A	地域社会や他施設との交流の機会を設け、地域の文化に触れられるように検討した。
		2. 乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流している。	C	
		3. 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れている。	C	
	子育て支援の推進	1. 地域の子育て支援センターとして、園庭や中庭、保育室等を開放している。	A	
		2. 地域に住む子どもどうし、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行なっている。	A	
		3. 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定している。	A	
		4. 職員による育児に係る「子育て相談」は充実している。	A	
		5. 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している。	A	

項目		内容	評価	改善策
開かれた保育所づくり	情報の発信	1. 園だより、クラスだより、ホームページ等を通して、 保育内容や子どもの姿、保護者への情報を発信している。	A	
		2. 行事や子育て支援事業を、地域の連絡会や児童施設、 小学校に対して周知している。	B	
	外部評価	1. 第三者評価を導入し、施設運営に反映している。	D	第三者評価の導入 を検討していく
		2. 地域や保護者の意見を施設運営に反映している。	A	